

✽ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✽

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ 教育課程の展開に寄与する学校図書館へ

本通信の昨年8月号に「ますます重要となる学校図書館」という記事を記載しました。実は、昨年の8月26日、文科省の主催による**第1回学校図書館の整備充実に関する研究協力者会議**が行われ、先月までですでに6回開かれています。ここでは、第6回の同会議で配布された資料：「**学校図書館の整備充実に関する審議のまとめ（素案）**」の中から、内容を抜粋して紹介したいと思います。学校図書館に対して、どのような役割を担うことが期待されているのか、また、そのためには、どのような手立てが必要なのか、今後、文科省がたてようとしている施策を知るだけでなく、各学校でも学校図書館の活用に関して、これからの取組むべき方向性の指針にたいへん参考になるものであると思います。なお、この資料は、文科省のホームページから入手することが可能です。

学校図書館の整備充実に関する審議のまとめ（素案）

（注）どの項目もすべて抜粋です。また、内容の文章は素案に記載された文章のままではなく、紙面の関係で要点を伝えることを目的とし、適宜抜粋をして記述しています。

1 学校図書館に関する基本的な考え方について から

- ・「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を、学校図書館が最大限に発揮できるようにすること。
- ・学校図書館の図書館資料等を有効に活用することは、アクティブ・ラーニングの視点からも重要。
- ・学校図書館の活用を通じた情報活用能力の育成が求められている。
- ・学校図書館の機能を最大限に発揮できるようにするため、専門的人材の配置と図書館資料の充実の双方を図ることが極めて重要。

2 学校図書館の現状と課題、改善の方向性について から

（1）現状と課題・・・略

（2）改善の方向性

- ・学校図書館の運営上の重要な事項について、教育委員会や学校等の参考になるよう、「学校図書館のガイドライン（仮称）」を定めることが必要。
- ・「学校司書の資格・養成等の在り方に関する作業部会」の検討結果をとりまとめる。
- ・国、教育委員会等において、学校図書館の充実に向け、今後求められる取組についてとりまとめる。

3 学校図書館ガイドライン（仮称）について から

- ・同ガイドラインは以下の構成とする。（注：以下に記載する7つの項目です）

(1) 学校図書館の目的・機能

- ・学校図書館は学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童生徒の健全な教養を育成することを目的としている。
- ・学校図書館は「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を有している。

(2) 学校図書館の運営

- ・校長は学校図書館の館長としての役割を担っており、そのリーダーシップの下、学校図書館の運営計画を定めることが望ましい。学校図書館の運営は、同計画等に基づき、教職員の連携の下、計画的・組織的になされることが望ましい。
- ・学校図書館は、児童生徒の登校時から下校時までの開館に努めることが望ましい。

(3) 学校図書館の利活用

- ・学習指導要領等を踏まえ、各教科等において、学校図書館を計画的に利活用し、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実することが必要。その際、各教科等を横断的に捉え、学校図書館の利活用を基にした情報活用能力を学校全体として計画的かつ体系的に指導することが望ましい。

(4) 学校図書館に携わる教職員等

- ・管理職、司書教諭や一般の教員（教諭等）、学校司書等が、それぞれの立場で求められる役割を果たした上で、互いに連携・協力し、組織的に取り組むことが重要。
- ・学校や地域の状況も踏まえ、地域のボランティアの方々の協力を得て、学校図書館の支援を行ってもらうことも有効である。

(5) 学校図書館における図書館資料

1 図書館資料の種類

- ・学校図書館の図書館資料には、図書、雑誌、新聞、視聴覚資料（CD、DVD等）、電子資料（CD-ROM、ネットワーク情報資源）等が含まれる。
- ・小学校英語を含め、とりわけ外国語教育においては、教育課程の展開に寄与するデジタル教材を図書館資料として充実することが必要である。
- ・特別支援教育の観点から、在籍する児童生徒の状況に応じた様々な形態の図書館資料を充実することも必要である。

2 図書館資料の選定・提供

- ・明文化された選定の基準を定めるとともに、基準に沿った選定を組織的・計画的に行うことが望ましい。
- ・選定を行うための校内組織を整備し、学校組織として選定等を行うことが望ましい。

3 図書館資料の整理・配架

- ・サインや書架の見出しを設置するなど、児童生徒が自ら資料を探せるように配慮・工夫することや、季節や学習内容に応じた掲示・展示やコーナーの設定などで、児童生徒の読書意欲の喚起、調べ学習や探求的な学習に資するように配慮・工夫すること。また、模型や実物、児童生徒の作品等の学習成果物を掲示することも有効である。

4 図書館資料の廃棄・更新

- ・刊行後時間の経過とともに誤った情報を提供することが明白となった図書や、汚損や破損により修理が不可能となり利用できなくなった図書等が配架されている例もあるが、児童生徒にとっては最新の正しい知識に触れる環境が適切である。
- ・各学校等において、明文化された廃棄の基準を定めるとともに、基準に沿った廃棄・更新を組織的・計画的に行うことが望ましい。

(6) 学校図書館の施設

- ・学校施設整備指針に沿って整備されることが望ましい。（略）

(7) 学校図書館の評価

- ・図書館資料の状況（蔵書冊数、更新状況等）、学校図書館の利活用（授業での活用状況、開館状況等）、児童生徒の状況（利用状況、貸出冊数、読書に対する関心・意欲・態度等）について行われることが望ましい・

4 学校司書の資格・養成の在り方 →検討中

5 今後求められる取組について から

(1) 国に求められる取組

- ・「学校図書館のガイドライン（仮称）」の作成
- ・上記のガイドラインの普及に向けた連絡協議会の企画・実施
- ・学校図書館に関する研修資料等の作成

(2) 教育委員会等に求められる取組

- ・ガイドラインを踏まえた、学校図書館の充実に向けた施策の推進
- ・司書教諭が学校図書館に関する業務により専念できるための工夫
- ・学校司書の配置や支援を継続して行うこと。
- ・司書教諭、学校司書を対象とした研修の実施。また、学校図書館の重要性等について管理職の理解の促進
- ・学校図書館と公共図書館との連携・協力

以上に示した「学校図書館の整備充実に関する審議のまとめ（素案）」は、表題にあるとおり、あくまで素案の段階の内容です。今後さらに審議が重ねられるなかで、内容や表記が変更されることもあることをご承知おきください。

しかし、素案とはいえ、現段階で読んでも、自校の学校図書館の状況や、その運営や利活用の在り方を考えるのに、たいへん参考になるものと考え、今回、紹介させていただきました。

* 「学校図書館の整備充実に関する審議のまとめ（素案）」へのアクセス

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/115/shiryo/attach/1373978.htm

* 「学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議」の議事録も閲覧可能です。

- ☞ 文科省のホームページを開き、右上のワード検索に と入力の上、ご検索ください。

*すてきな愛称

警固小学校の学校図書館には「えのき図書館」という名前があります。これは校庭にそびえる「えのき」にちなんだものです。創立の頃からある木で、今では同小学校の象徴となっています。この「えのき」のように、子どもたちが、心健やかに、豊かに成長することを願って名付けられました。



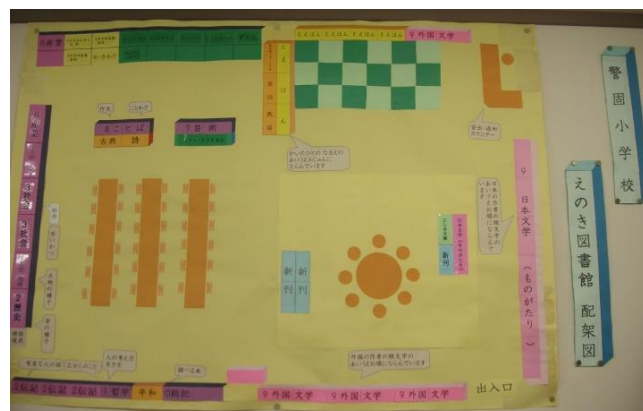
・入口から後方を臨む。右の絵本コーナーの壁には「ようこそ えのき図書館へ」という張り紙があります

*読書コーナーと学習コーナー

学校図書館全体はカウンター側に読書コーナー（絵本コーナーを含む）と机が置かれた学習コーナーで構成されています。



・後方からカウンター側を臨む。



・「配架図」（右上が絵本コーナー）

絵本コーナーにはマットが敷かれてあり、寝転がって絵本を楽しむこともできます。床の上に絵本が置いてある書架もありましたが、絵本コーナーの特性を考えると、本を取り出しやすく、良いアイデアに思われました。（写真左）

*見通しの良さの要因

標準の広さにもかかわらず、狭苦しい印象が無く、全体の見通しが良くなっています。その理由は書架の高さと色にあります。部屋前後の5段の書架、左と右の窓側の3段の書架の高さと色がそろえてあります。学校図書館が現在の位置に改築となる際に、計画的に書架を揃えられたようです。



・絵本コーナーのマットと床上に置かれた絵本

* 見つけやすさの工夫

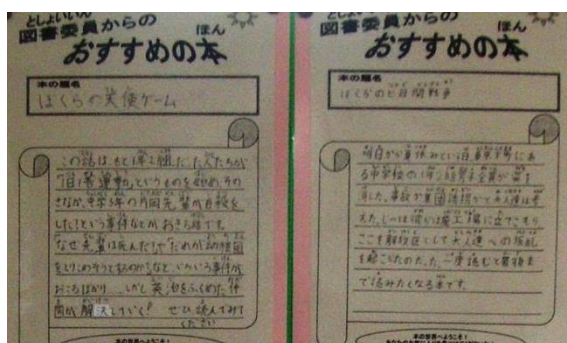
子どもたちが学習中の内容に関係する本をすぐに見つけられるように、表示は細かく、かつ、できるだけ单元名にあわせるような表示の仕方が工夫されています。表示のカードは分類番号で色を変えています。



・单元名や学習内容、作家別の表示（テープで本の背にも作家名を記入）

* 読書へのいざない

廊下の掲示板には、図書委員からのおすすめの本の書名とおすすめの理由が書かれた紙（写真右）や、



小学生読書リーダー養成講座を受講した読書リーダーさんたちによる、おすすめの本の自作POP（写真左）が掲示されていました。POPはどれもみごとで、まるで専門家の作品のように思えるもの

がたくさんありました。

定期的に取り組んである「読み聞かせ」で使われた本の名前を、終了後、そのつど掲示するようにしています。自分で読んでみたいとか、他の学級ではどのような本が読まれたのかを知ることができて、とてもよい工夫です。（写真右）



* 学校の特徴（大先輩の紹介）



俳優、演出家にして絵本作家、「おとなになれなかった弟たちに」の著者としても有名な米倉加年さんは、警固小・警固中の卒業生なのです。学校図書館には子どもたちにあてた米倉さんのメッセージが「おとなになれなかった弟たちに」の本とともに置かれていました。（写真左）

□ **福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（8月～9月）**

福岡アジア美術館

「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」

アジアの国や地域のお話を、絵本や紙芝居を通して知ることができます。

8月後半と9月の日程は次のとおりです。

（8月）23日（火），28日（日）

（9月）11日（日），13日（火），
25日（日），27日（火）

（時間）11：30～，13：00～（1日2回）

（会場）7F「キッズコーナー」

*対象は未就学児および児童とその保護者で、
事前の申し込みは不要です。



♪ **お知らせ**

今秋のアジアフォーカス・福岡国際映画祭 2016 にあわせて、9月8日から12月25日を会期とし、「心の旅、ベトナムー日本の美術コレクター寄託作品より」展が行われます。

これにあわせて、**8階のあじび図書閲覧室**では、ベトナム関係の図書・資料や写真集、小説、ベトナム近代・現代の美術図録など、100冊以上の図書が展示されます。ぜひ、足をお運び下さい。

福岡市総合図書館

「おはなし会」

福岡市総合図書館で毎月実施されている「**おはなし会**」について、8月後半から9月前半の日程をお伝えします。

（8月）27日（土），28日（日）

（9月）3日（土），4日（日），10日（土），11日（日）
17日（土），18日（日），24日（土），25日（日）

♪ **時間と場所について：**

土曜日 14：30～（幼児向け）

日曜日 14：30～（幼児向け）

15：15～（幼児～小学生向け）

場 所は「こども図書館 おはなしの家」です。

♪ **こども図書館9月の展示テーマ** は「**アジア**」です。

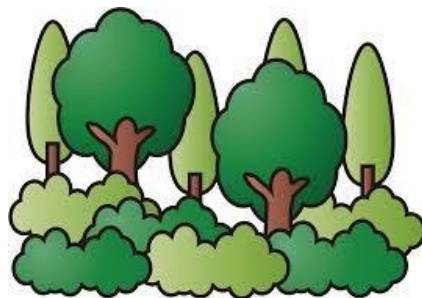
テーマに即したいろいろな本が入口に展示されます。ぜひ、のぞいてみてください。



□ 図書館員のひみつの本棚 《124》

福岡市総合図書館の読書相談員、重村さやかさんが紹介してくださるコーナーです。
今、子どもも大人も、位置情報を活用したスマートフォンゲームに夢中で興じている姿が多く見受けられ、事故の未然防止のための注意喚起がだされるほどの社会現象となっています。

実は、屋外を歩きまわらなくても、同じような楽しみが味わえる絵本があります！といったら、びっくりされるでしょうか？ 今回は、そんな絵本のようなのです。



♪ 今月の「図書館員のひみつの本棚」

『もりのえほん』

（安野 光雅／絵 福音館書店 1981年 972円）

📎 添付ファイルをご覧ください。

♪ あとがきにかえて

今年度から2学期の始業式もちよぴり早まりました。もうまもなくすると、子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきます。

2学期に入ると、たくさんの学校行事が目白押しのことと思います。まだ、残暑が厳しいかもしれませんが、秋の読書週間に向けて、充実した読書活動を展開することができるようにしたいものです。そのためにも、残された夏休みの日を活用して、学校図書館の蔵書チェックを含め、展示や掲示物など、整備しておきたいものです。

夏休みが明けて、再び学校図書館にやってくる子どもたちが、「おっ！」と思うような、すてきな「しかけ」で迎えることができるといいですね。

「学校図書館の整備充実に関する審議のまとめ（素案）」はいかがでしたでしょうか。学校図書館を利活用するのは、子どもたちだけでなく、先生方も同様です。したがって、学校の全職員で組織的な運営・活用を図ることが大切であることを、あらためて考えさせられる内容だったのではないのでしょうか。

本通信では、できるだけ多くの学校の読書活動の様子を紹介できたらと願っています。ぜひ情報をどしどしお寄せいただきたく存じます。特に、秋の読書週間での取り組み予定など、お知らせいただけることを願っています。連絡は下記の電話もしくはメールをご利用ください。よろしくお願いします。

編集・発行： 福岡市教育委員会 教育支援部 生涯学習課
電話：711-4655